

4 構成町の横顔

南部消防署管内

し め まち
志免町



志免町総合福祉施設「シーメイト」は、総合的情報の発信基地・自立の共存を図る・誰もがフリーアクセスできる。をコンセプトに福祉事業の拠点となっています。

岩崎神社で毎年9月に行われる伝統行事「石投げ相撲」の起源は江戸時代末期とされ、見物客が石を投げ合うほどに熱中したことが名前の由来という。現在は、子供相撲や赤ちゃんの土俵入りが行われ青少年の健全育成に大きな役割を果たしています。

町の花：サクラ

う み まち
宇美町



宇美八幡宮は、神功皇后が新羅遠征から帰還して、この地で応神天皇をお産みになったことから安産の神様として全国的に知られ、町名も「産み」に由来します。

宇美八幡宮に毎年4月15日と10月15日に奉納される神楽で清楚で神への敬謙さが、よく表現され、現在も神楽座が構成されて、熱心に受け継がれています。

(県指定無形民俗文化財)

町の花：ツクシシャクナゲ

す え まち
須恵町



上須恵須賀神社「祇園山笠」は、明治時代中ごろから始まり、毎年7月下旬の「かき山」の1週間前から飾り山が飾られ、当日は勇壮に町内を駆け抜けます。

「左谷山建正寺」に安置されている「木造十一面観音立像」(県指定有形文化財)は、十一の面に人々の苦しみを救う力を秘めているといわれ、発見当時は傷みが激しく、修復後は厳重に安置されていますが、年に一度だけ、4月に一般公開され拝観できます。

町の花：つつじ

かす や まち
粕屋町



ささ ぐり まち
篠栗町



ひさ やま まち
久山町



筑前三大大池のひとつ駕与丁（かよいちょう）池が「駕与丁公園」として整備され、住民の憩いの場となっており、公園内の粕屋町総合体育館「かすやドーム」は、円形状の屋根が青い空と池の湖面によくマッチしています。

21世紀の粕屋町の祭りとして「よさこい祭り」が推奨され、毎年かすやドームをメイン会場として、老若男女を問わず、町民多数が参加し楽しいお祭りが開催されています。

町の花：バラ

若杉山の和の大森には計5本の巨大杉が天高く伸び、森の巨人たち百選に選ばれている「トウダの二股杉」や5本の中でも最も大きな「和の大杉」は幹周16.15m、樹高40mあり、大自然の偉大さ、雄大さが体中を包みます。

「篠栗祇園祭」は、毎年7月第2土曜日に山笠が勢い水をかぶりながら須賀神社からJR篠栗駅を往復し、賑わいを見せます。平成19年から「篠栗夏祭り」に名称を変更し、花火大会が復活しました。

五塔の滝：鳴湊川溪流の滝

伊野皇大神宮沿いを緩やかに流れる猪野川と久原川の上流は、螢の生息地として有名で、猪野川の源氏螢、久原川の平家螢の乱舞するひかりは、幻想的な世界を作り出します。

久山檜太鼓は、ジュニアからシニアまでの4チームで編成し、地元祭りや各地区のイベント、福祉施設の慰問などで活躍され、青少年の健全育成に大きな役割を担っています。

町の花：えびね